

講演のアウトライン

1. 東日本大震災で観察された「共助」のカタチ

- ・ 共助型避難行動（民生児童委員／自治町会防災担当）
- ・ 女性たちのレジリエンス／津波被災集落における住まいと風景の回復

2. 土砂災害警戒区域かつ風景資源としての開発残存斜面緑地

- ・ 1970年代に多摩丘陵を大規模造成し、開発分譲された戸建て住宅地
- ・ 土砂災害警戒区域との共生、開発設置街区公園の活用、
- ・ 地域サロン活動と地域防災活動

3. 知的刺激を継続する改善進行管理の防災ワークショップ

- ・ 多摩ニュータウンらしい隣人関係ゆえのハードルと可能性
- ・ 青少年育成の地域組織、学校地域自主運営、PTAとボランティア活動
- ・ 父親の参加、コミュニケーション防災の重視

4. 大都市校外におけるコミュニティ防災を進めるために

- ・ 地域・近隣の資源を（したたかに）フル活用
- ・ ていねいに、ゆっくりと
- ・ 地元大学や地域で活動するNPO/NGO等の力も借りて

